

後期基本計画策定に向けた 分野ごとの視点

後期基本計画策定に向けた分野ごとの視点

前期基本計画の総括と市民へのアンケート調査結果を踏まえ、章ごとに後期基本計画策定に向けた分野ごとの視点を示しました。今後の後期基本計画の策定に向けて、市民が考える施策ごとの満足度と重要度、施策を取り巻く環境、それらを踏まえた後期基本計画の策定に向けた注目すべき点を各章ごとにまとめました。

資料の構成

(1) 市民が考える重要度と満足度

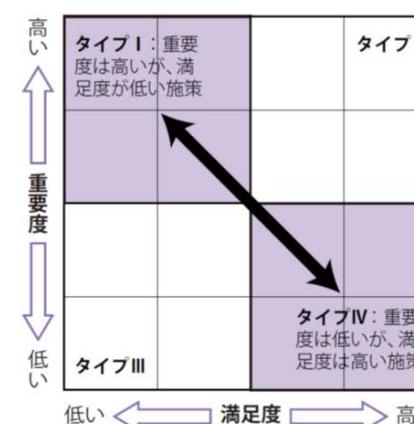
市民を対象としたアンケート調査結果をもとに、「市民が考える施策ごとの重要度・満足度」をマトリクスで示しています。

各項目の「満足度」、「重要度」の評価に当たっては、アンケート調査の回答の5つの選択肢を以下のようにポイント化した上で集計を行い、平均値を算出しています。

基本計画の施策の項目ごとの満足度と重要度の平均値をマトリクスで評価し、どの項目が住民の欲求が高く、早期に解決すべき課題として該当するのかを分析しました。各項目の「満足度」、「重要度」の評価に当たっては、それぞれの5つの選択肢を以下のようにポイント化した上で集計し、4つの施策区分（施策タイプI～IV）へ分類しました。

アンケート結果とポイント					
得点	5	4	3	2	1
満足度	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である
重要度	重要である	やや重要である	どちらともいえない	あまり重要ではない	重要ではない

分類	基準
施策タイプI	重要度が平均ポイント以上で、満足度は平均ポイント以下のもの
施策タイプII	重要度が平均ポイント以上で、満足度も平均ポイント以上のもの
施策タイプIII	重要度が平均ポイント以下で、満足度も平均ポイント以下のもの
施策タイプIV	重要度が平均ポイント以下で、満足度は平均ポイント以上のもの



満足度：市民の皆さんがどの分野に満足しているのかを相対的に示したもの
重要度：市民の皆さんがどの分野を重要と思っているのかを相対的に示したもの

(2) 施策を取り巻く環境

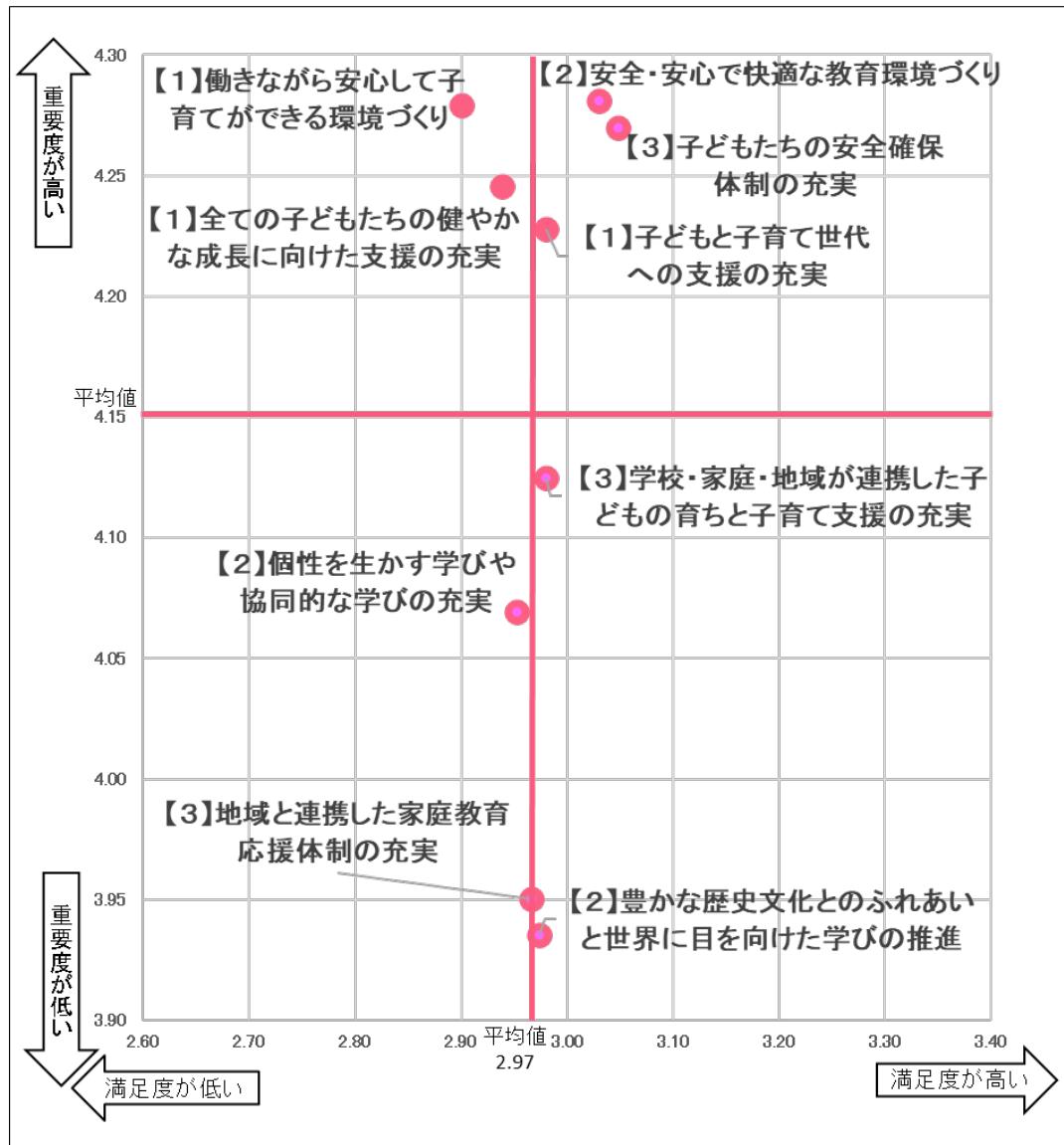
庁内の総括結果を踏まえて、施策を取り巻く社会経済環境の変化と今後に向けた課題を分野ごとに示しています。

(3) 後期基本計画策定に向けた視点

節ごとに分類し、市民を対象としたアンケート調査や前期基本計画の総括を踏まえて、後期基本計画策定に向けた着眼点を示しています。

分野1 子どもたちの笑い声があふれるまち

(1) 市民が考える重要度と満足度



(2) 施策を取り巻く環境

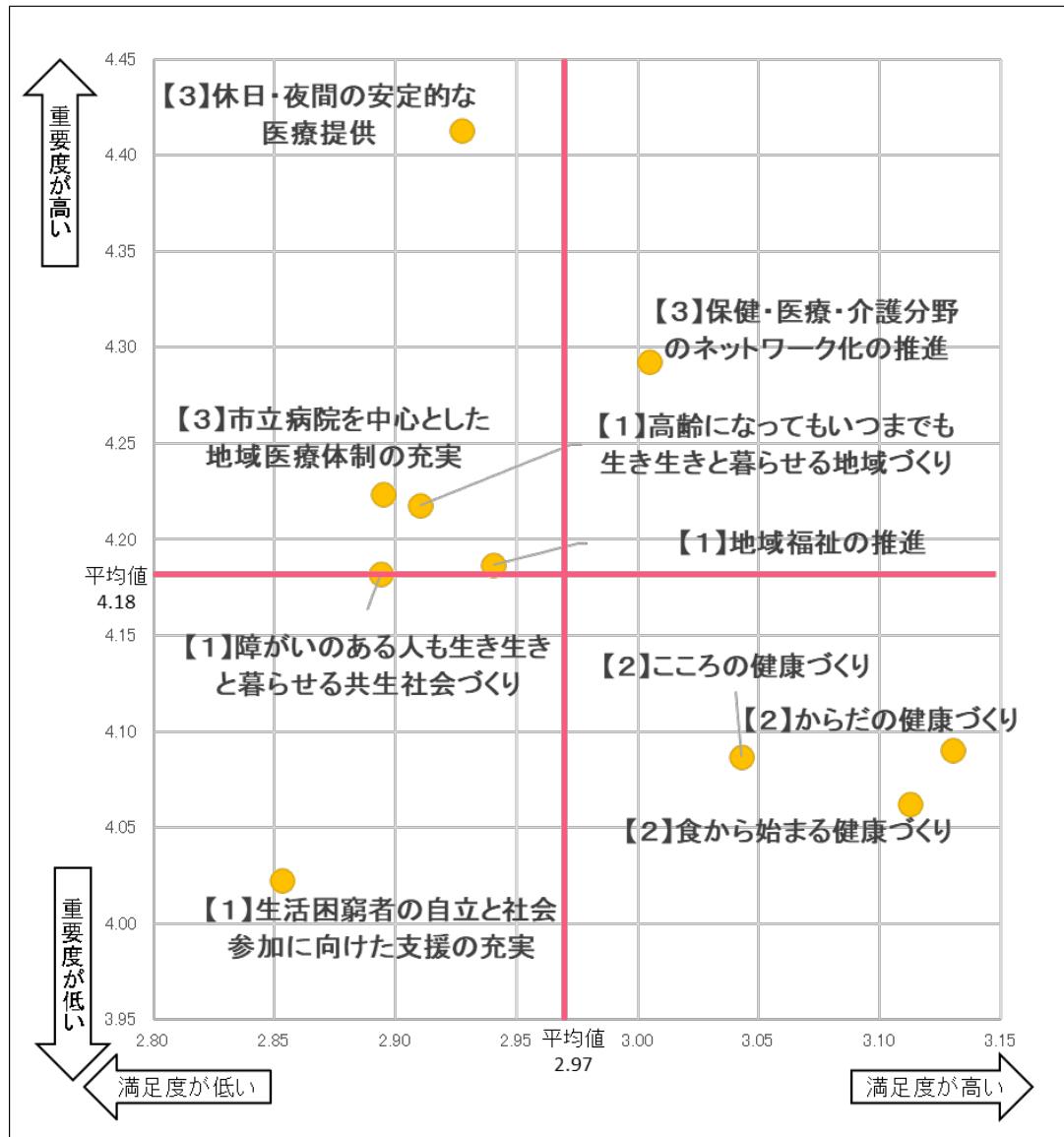
社会経済環境の変化	働き方や暮らしの変化	国際化と技術の進歩
	働き方が多様化し、共働き家庭が増加 生活の充実を重視する考え方の広まり	国際化による多文化共生の取り組みの進行 デジタル技術やAIが急速に発展
	家族や教育の課題	安全対策と子育て支援の充実
今後に向けた課題	人間関係の複雑化や地域での孤立化 家庭や地域とのつながりの弱さ 個性や多様性を尊重する考え方	事件を防ぐための安全対策の重要性の高まり 子ども家庭庁の設置による子育て支援の制度 充実
	第1節 『妊娠』から『子育て』までの切れ目ない支援体制の構築	
	○子育て困難な家庭や複雑困難化する課題の増加に対応した関係各課・機関連携による一体的支援 ○人員の確保、青少年相談センターの相談機能強化 ○早期発見・対応のための人員確保 ○相談ケースの複雑多様化に伴うスムーズな関係機関の連携	
	第2節 未来を担う子どもを育むための学習環境の充実	
	○各学区における小中連携の推進 ○中学校教員向け研修の効果検証	
第3節 地域全体で子育てや教育を支える体制の充実		
○児童生徒により丁寧な支援をするために職員の確保		

(3) 後期基本計画策定に向けた視点

第1節	第2節	第3節
<ul style="list-style-type: none"> ○複雑化する家庭環境への一体的な支援体制の構築 ○支援体制の柔軟性向上 ○就労形態の多様化に適應した保育サービスの提供 ○ジェンダーロールなどの多様な文化への理解醸成 ○家庭内問題の早期発見に向けた仕組みの強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○多様な学びに関する理解と実施力向上 ○異文化に触れる機会の造成 ○デジタル教材の活用 ○教員のICT活用のための格差是正 ○良好な学習環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校、家庭、地域の密接な連携 ○地域の支援活動の担い手確保 ○登下校時の安全確認体制の地域間協力への支援 ○家庭教育に関する学びの機会提供

分野2 みんなが生き生きしているまち

(1) 市民が考える重要度と満足度



(3) 後期基本計画策定に向けた視点

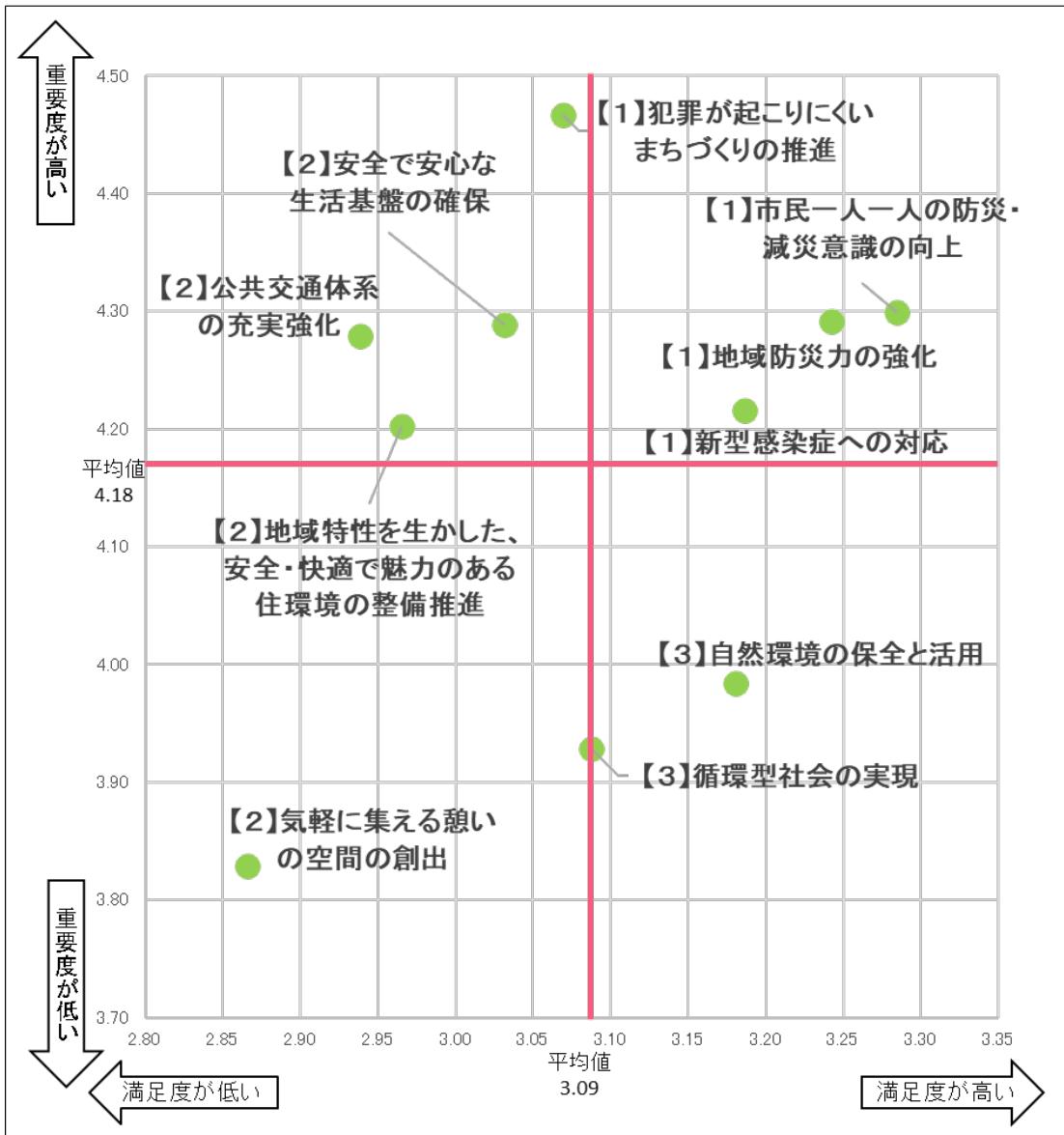
第1節	第2節	第3節
<ul style="list-style-type: none"> ○高齢化に伴う医療・介護需要への対応 ○障がい者手帳保持者数の増加への対応 ○物価高騰に伴う生活困窮者への対応 ○住民参加による地域福祉向上 	<ul style="list-style-type: none"> ○生活習慣病予防に対する健（検）診受診の強化 ○地域単位での健康づくりの意識向上 ○悩みを抱える人が相談できる機会の整備 ○ゲートキーパー育成など予防的な支援の継続 ○保育現場での共食機会の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ○医療・福祉・介護分野の連携体制の造成 ○医療分野での地域連携の強化 ○休日急患診療センターの適正な運営 ○病院機能の維持 ○市立病院の医療スタッフ確保

(2) 施策を取り巻く環境

社会経済環境の変化	人口構造と世帯の変化	健康と福祉
	高齢化の進展と世帯構造の変化 医療・介護人材不足の深刻化	課題の深刻化と医療・介護需要の増加 医療・福祉・保健のニーズが増加
	経済環境の変動	社会活動の変化
	物価高騰による経済負担や生活困窮者の増加 生活環境の不安定化とストレス要因の複雑化	コロナ禍による生活様式の変化と地域活動の停滞 障がい者支援の法制度強化と多様性尊重の進展
今後に向けた課題	第1節 みんなが生きがいを持ち安心して暮らせる支援体制の充実	
	<ul style="list-style-type: none"> ○健康づくり・介護予防に向けた取り組みの強化 ○生活困窮者増加への対応 ○障害者手帳所持者の増加 	
	第2節 健康増進と健康寿命の延伸による元気の創出	
	<ul style="list-style-type: none"> ○子ども医療費助成の財源確保 ○ストレス要因の多様化・複雑化 ○幅広い世代で欠食 	
第3節 安心できる地域医療体制の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ○医療・介護の複合ニーズ増加に対応できる関係機関の連携・情報共有や人材 ○病院施設の老朽化、医師や看護師等の人材不足 		

分野3 快適に住み続けられるまち

(1) 市民が考える重要度と満足度



(2) 施策を取り巻く環境

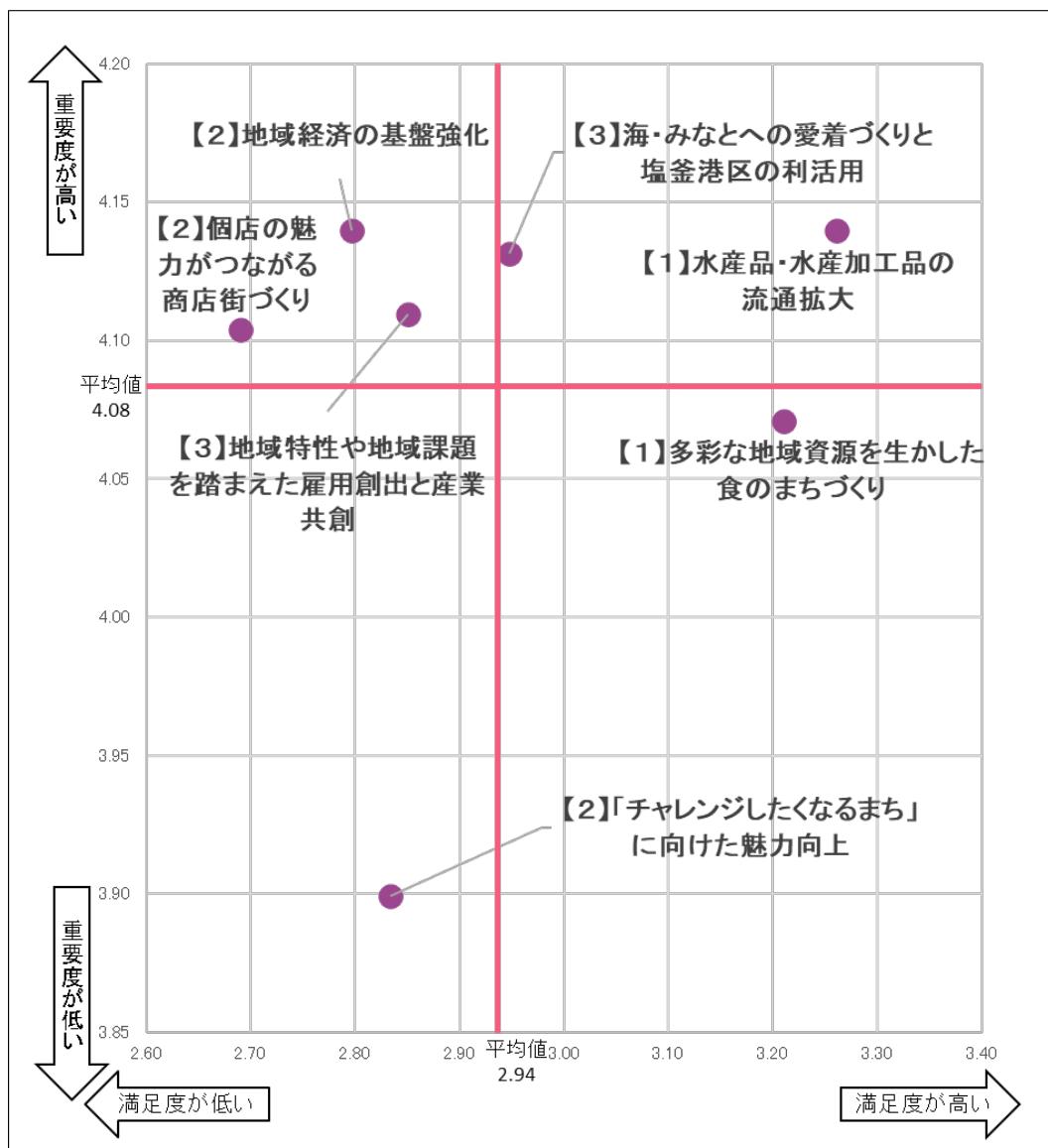
社会経済環境の変化	自然災害と安全性への意識	感染症のリスク管理
	災害リスクの顕在化と防災意識の高まり 住環境の安全性・快適性向上ニーズの増加	国際化による感染症リスクの顕在化
今後に向けた課題	地球環境と持続可能な社会	地域経済と資源活用
	地球温暖化対策と脱炭素社会への移行の加速	物価高騰による工事費用の増加 地域資源の活用と観光・交流ニーズの高まり
第1節 災害などに対する『強さ』と『しなやかさ』を持ち、安全・安心に生活できる都市環境づくり		
○防災・減災に向けた人材育成教育の実施 ○消防団員数の減少や高齢化		
第2節 コンパクトで生活サービスが充実した『住んでいたい・住んでみたいまち』の形成		
○増加する空き家への対応 ○旧耐震基準の木造住宅の脆弱性 ○老朽化施設の更新 ○コミュニティバスの収益低下、人員不足		
第3節 豊かな自然と調和した環境にやさしい循環型社会の形成		
○環境負荷の少ない、環境と調和した取り組みの推進 ○老朽化施設の更新		

(3) 後期基本計画策定に向けた視点

第1節	第2節	第3節
○防災教育の拡充と自主防災活動の活性化 ○防犯設備の継続 ○感染症予防等の医療機関との連携	○空き家・空き地の方針の整理 ○市民に親しまれる環境整備 ○公共施設の適正管理 ○公共交通の維持	○脱炭素社会への移行 ○自然環境の保全と活用 ○再生可能エネルギー活用と都市基盤整備

分野4 活気があり、誇りをもって働いている人がたくさんいるまち

(1) 市民が考える重要度と満足度



(2) 施策を取り巻く環境

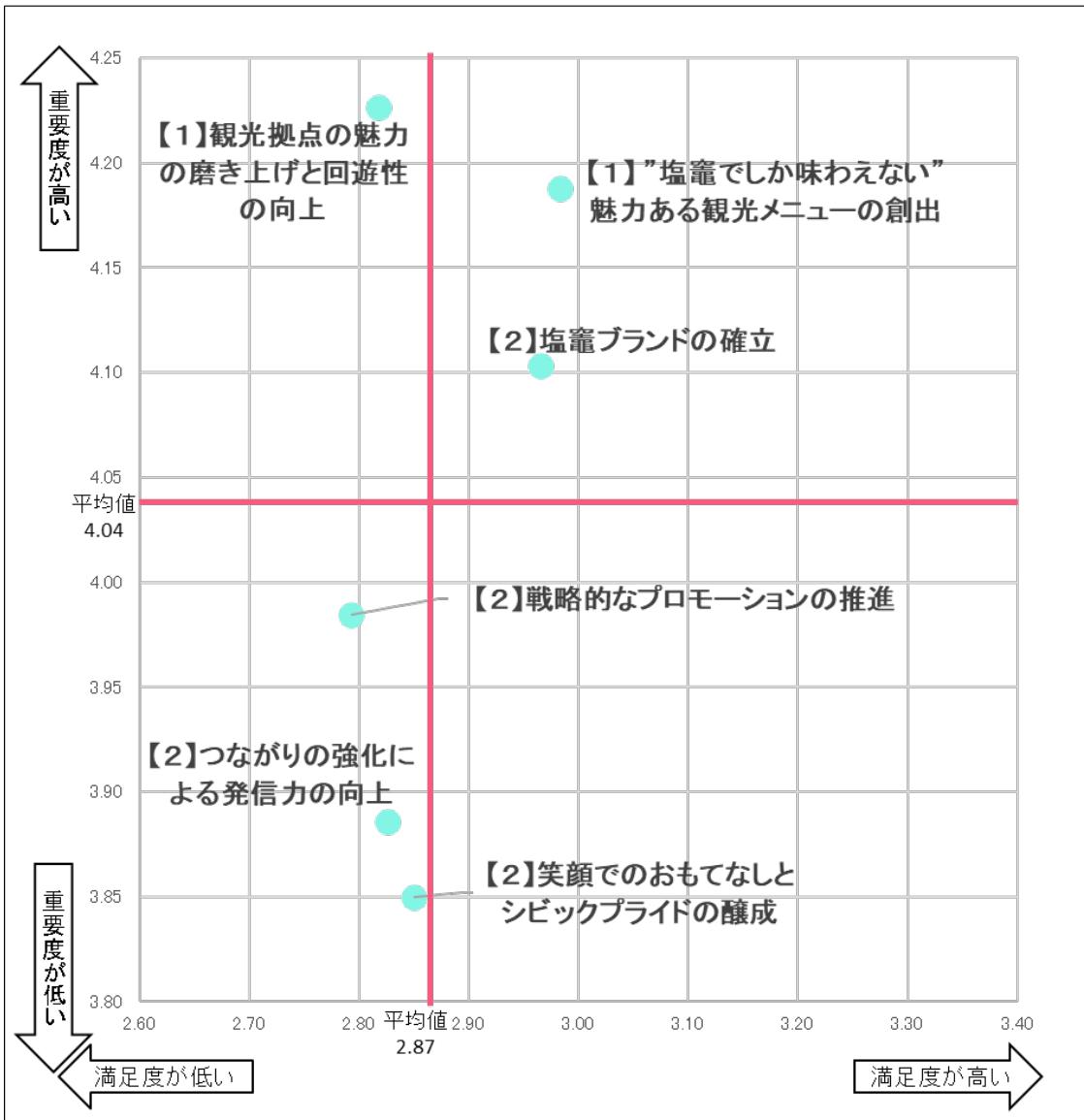
社会経済環境の変化	地域活性化と資源活用	消費者の行動の変化
	「三陸塩竈ひがしもの」の認知度向上の必要性 地域資源の活用と交流・観光ニーズの高まり	消費者のライフスタイルや価値観が変化
今後に向けた課題	経済環境と企業経営	働き方の変革
	物価高騰による収益性低下や人材不足の深刻化による中小企業の経営リスクの増大	働き方の多様化
第1節 数多くの地域資源を生かした『みやぎの台所・しおがま』の創造		
○水産物のブランド化、認知度向上 ○後継者不足やイベント等の情報発信不足 ○価格転嫁、販路開拓		
第2節 商工業者の持続的な経営安定や事業承継・新規創業への支援の充実による地域活力の向上		
○エネルギー価格や物価高騰など、厳しい経営環境に直面		
第3節 海やみなとを生かした活力づくりや新たな産業と若者も満足できる雇用の創出		
○マリゲート塩釜のブランディング ○塩釜港区利用促進補助金の補助金額の増額や取扱品目の拡大など制度内容の見直し ○企業立地に必要な産業用地が慢性的に不足しており、企業誘致が困難		

(3) 後期基本計画策定に向けた視点

第1節	第2節	第3節
<ul style="list-style-type: none"> ○地元特産品のブランディングの強化 ○次世代への地域の魚食文化継承 ○原魚の安定供給 ○国内販路の回復と商品の輸出商流の確立 	<ul style="list-style-type: none"> ○新規創業者の支援 ○金融機関や地域団体との連携枠組みの強化 ○中小企業の経営基盤の強化 ○個店等の地域での自主的な取組への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ○マリゲート塩釜のブランド価値の向上 ○市場の販路開拓やポートセールスによる輸出増 ○企業誘致のため産業用地の把握

分野5 何度でも訪れたいまち

(1) 市民が考える重要度と満足度



(2) 施策を取り巻く環境

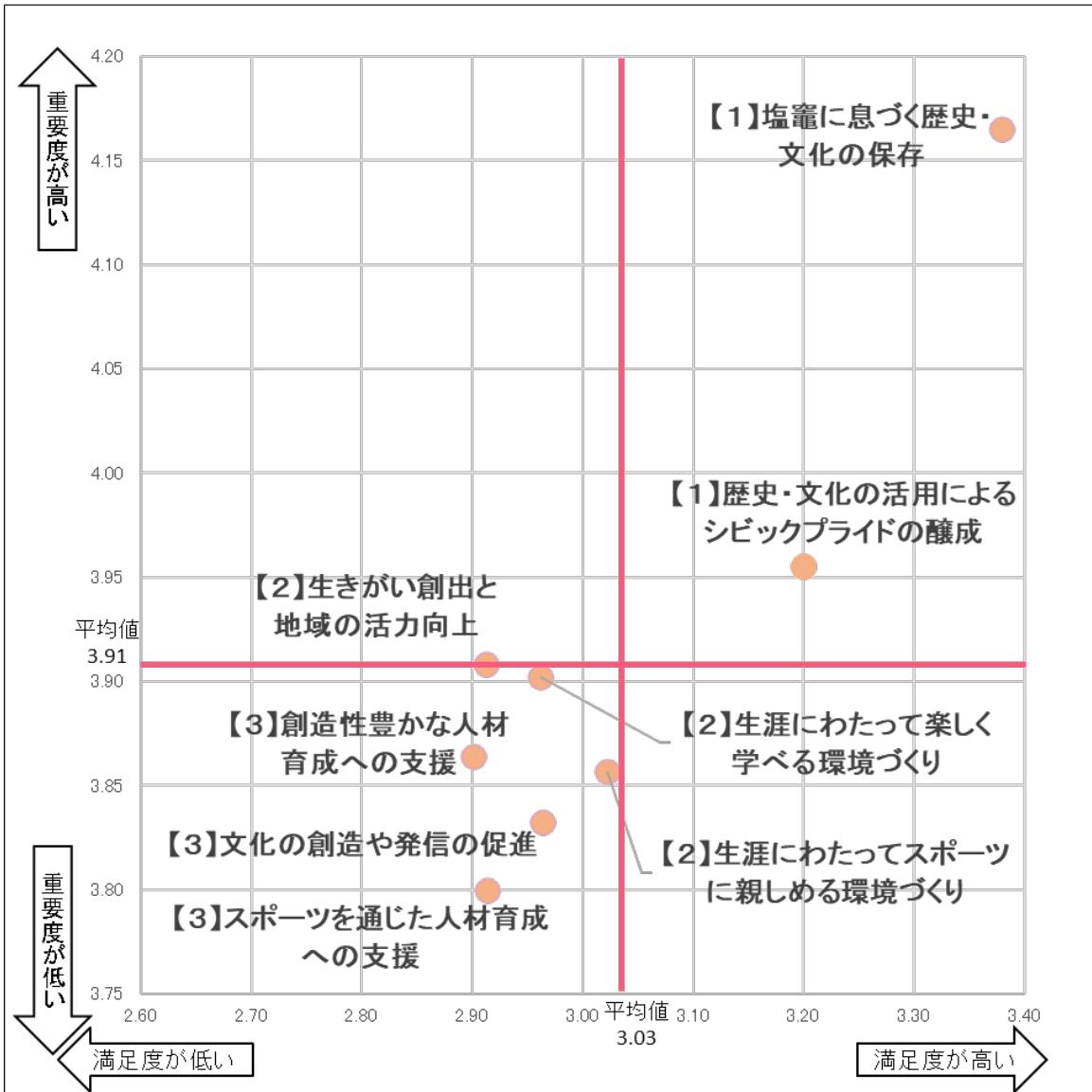
	新型コロナウイルスの影響と回復	観光客行動の変化と誘客戦略
社会経済環境の変化	新型コロナウイルス感染症による観光産業への影響 コロナ禍による観光客数の落ち込みからの回復傾向	デジタル化の進展による観光情報発信の変化 観光客の情報収集手段及び誘客戦略変化と広域化
	インバウンドと地域文化の活用 インバウンド需要と文化資源活用の強化	
今後に向けた課題	第1節 地域資源を最大限活用した観光メニューの創出	
	○後継者不足、イベント等の情報発信不足、事業者の人手不足及び高齢化問題 ○マリゲート塩釜の空きスペースの活用 ○浦戸諸島の人口減少、高齢化	
	第2節 塩竈ブランドの確立とおもてなし体制の充実・広域連携による交流人口の拡大	
	○デジタル技術を活用した情報発信 ○インバウンド向けガイド人材育成 ○多言語対応パンフレットやバリアフリー設備の不足	

(3) 後期基本計画策定に向けた視点

第1節	第2節
○地域資源を活かしたテーマ別観光メニューの開発 ○寿司やスイーツといった地元グルメの活用 ○地魚の集荷力強化 ○地域の物産品を活かした観光メニューの確立 ○観光拠点を結ぶ二次交通ネットワークの検討	○「食と歴史」を活用した体験コンテンツや情報発信の推進 ○PR動画・写真をSNSを中心に発信する体制と映像編集やデジタルスキルを持つ人材育成 ○専門的な知識を持つガイド・プランナーの人材育成 ○多言語対応パンフレットや案内標識、バリアフリー設備の整備

分野6 日常に彩りがあるまち

(1) 市民が考える重要度と満足度



(2) 施策を取り巻く環境

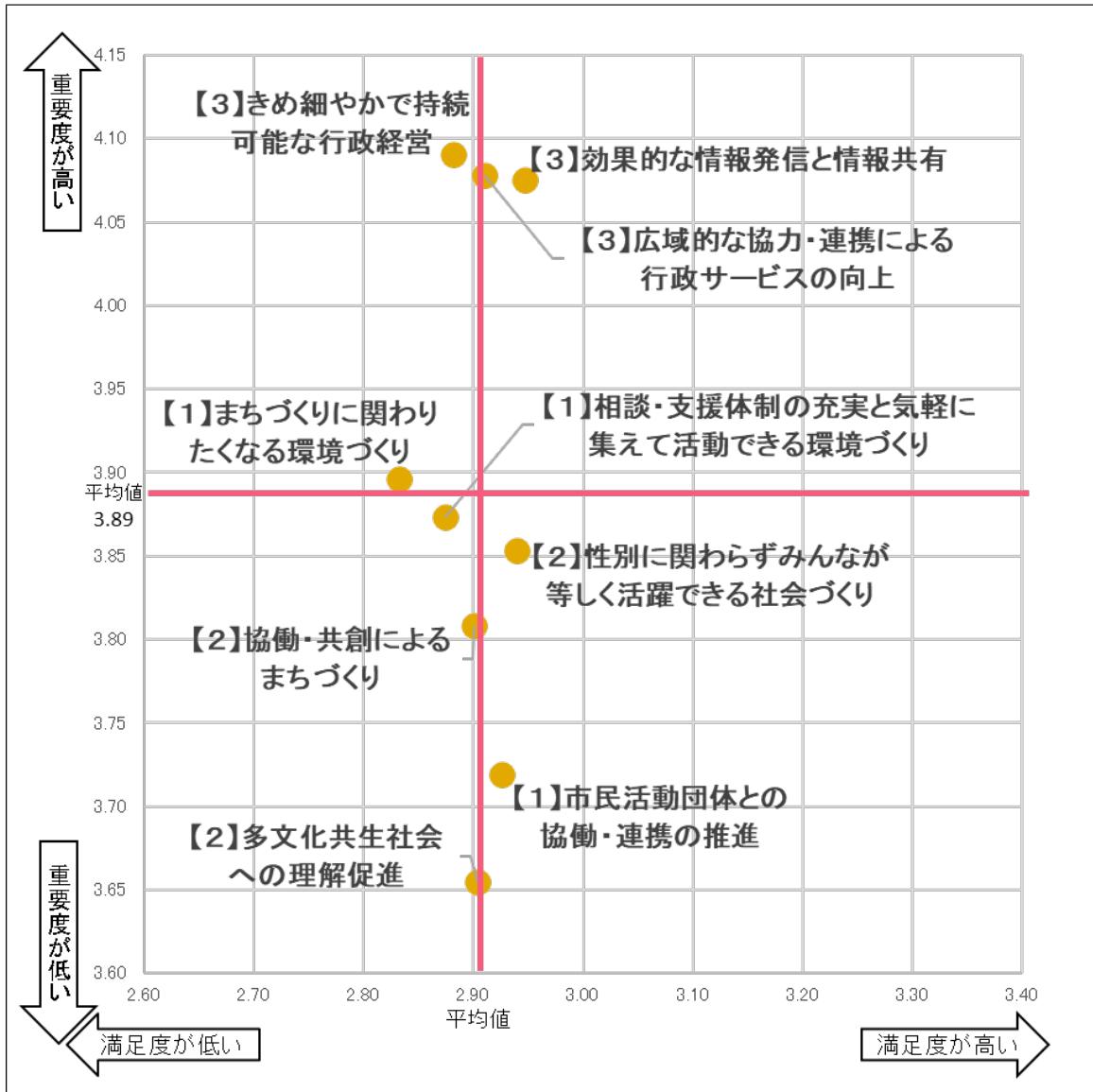
社会経済環境の変化	地域振興と人材育成	コロナ禍収束後の活動
	郷土意識の醸成と地域人材育成の重視 地域資源を活用した観光・経済振興の強化	活動再開と指定管理者制度の導入 社会活動・事業・各種活動の再開
今後に向けた課題	少子高齢化による変化	環境変化への対応
	社会教育活動の変化と団体の構造変化	異常気象による環境整備の必要性
第1節 豊かな歴史やこれまで培ってきた文化を未来へつなぐ取組の充実		
<ul style="list-style-type: none"> ○専門職員等の人手不足のため、指定への調査や文化財指定登録数の停滞 ○伝統芸能の後継者不足が深刻 		
第2節 生活にうるおいを与える生涯学習・生涯スポーツの展開		
<ul style="list-style-type: none"> ○各団体の会員の高齢化が進行し、会員数の減少に伴う収入減や活動範囲の縮小など、運営が難しくなっている団体の増加 ○市温水プールの老朽化により設備等の更新中だが、不具合箇所が多く、利用に支障 		
第3節 芸術・文化・スポーツなど、各分野で活躍できる人材の育成		
<ul style="list-style-type: none"> ○部活動の地域移行を進めるにあたり、方向性や考え方をまとめることが必要 ○情報発信の多様化 		

(3) 後期基本計画策定に向けた視点

第1節	第2節	第3節
<ul style="list-style-type: none"> ○地域全体の文化財保護に関する国・県との連携体制の強化 ○文化財に関する専門職員の配置 ○塩竈の文化や歴史などの魅力の発信 	<ul style="list-style-type: none"> ○指定管理者の経験を活かした管理運営の推進 ○学びの機会への参加者層の偏りへの対応 ○市民が求める施設や活動形態が多様化への対応 ○生涯学習やスポーツを基盤としたボランティアの育成 	<ul style="list-style-type: none"> ○プロスポーツチームとの包括連携協定の有効活用 ○部活動の地域移行を進めるための指導者配置や活動環境の整備 ○包括協定や地域団体支援の推進 ○情報発信の多様化

分野7 みんなが主役になれるまち

(1) 市民が考える重要度と満足度



(2) 施策を取り巻く環境

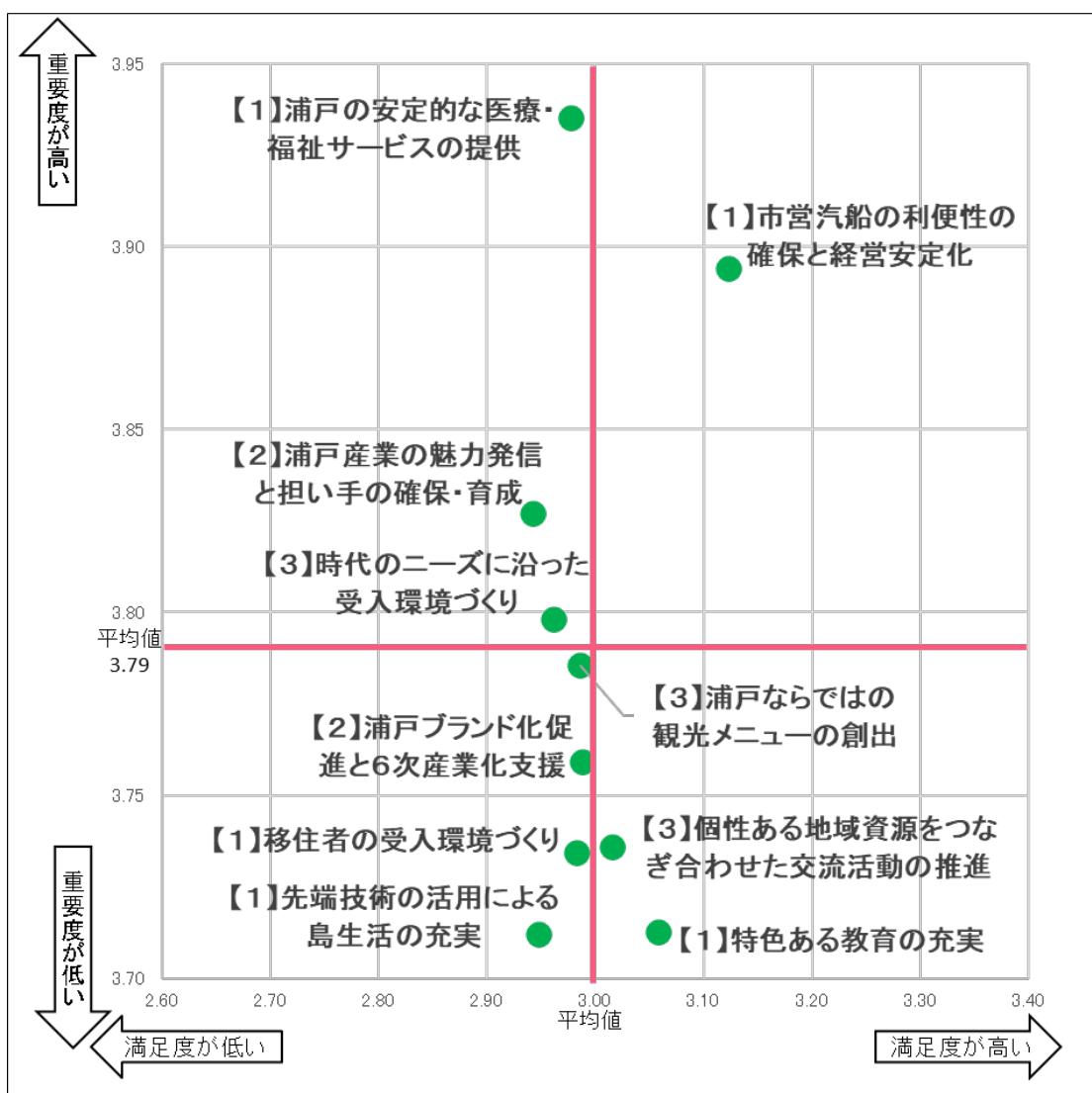
社会経済環境の変化	地域コミュニティと担い手不足	多文化共生
	町内会等各種団体の高齢化による担い手不足	外国人人口の増加と多様化
	社会の多様化と価値観の変化	行政課題の複雑化
	ジェンダー平等と家庭参加の促進 働き方の多様化・柔軟化の進展 ライフスタイルの多様化による個別ニーズの増加	社会構造・個人の価値観の変化に伴う行政課題の複雑化
今後に向けた課題	第1節 塩竈の魅力向上に向けた市民活動への支援体制の充実	
	○市民活動団体の活動へのきめ細やかな支援 ○生活様式や取り巻く環境変化に伴う市民活動を推進する人材や後継者不足が顕著	
	第2節 大学や企業等との交流・連携・共創と多様化する社会への理解促進	
	○包括連携協定の実効性の確保	
第3節 効果的・効率的で透明性の高い行政運営		
○「塩竈市人材育成・確保基本方針」に基づき、職員全体が目指す職員像や価値観を共有し、組織として新たな人事評価に取り組む必要性 ○高齢化社会で情報格差（デジタルデバイド）が拡大 ○多様な媒体を活用するための職員のスキル向上		

(3) 後期基本計画策定に向けた視点

第1節	第2節	第3節
<ul style="list-style-type: none"> ○生涯学習機会の利用促進 ○市民活動やまちづくりの後継者育成 ○市民活動団体の交流機会の提供 ○地域活動や市民の情報発信 ○市民活動団体や地域住民への細やかな相談支援 ○公共施設の利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ○包括連携協定の実効性確保 ○働き方やライフスタイルの多様化に関する意識啓発の推進 ○国際交流の取り組みの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○高齢層を中心に起こるデジタルデバイドの解消 ○ニーズに対応した多様な発信方法の検討 ○業務の定量化と業務効率化に伴うデジタル技術の活用 ○財政の透明性の確保 ○広域連携の強化 ○震災時ご支援いただいた自治体との交流の継続

分野8 自然と調和した和やかな暮らしと癒しがあるしま

(1) 市民が考える重要度と満足度



(2) 施策を取り巻く環境

社会経済環境の変化	人口動態に係る変化	移住支援・地域活性化
	高齢化の加速 離島での医師の確保と介護サービスの連携	移市営汽船の運行状況 居住者の受け入れ環境整備の必要性の高まり
	浦戸産業 漁業従事者の高齢化と後継者不足の深刻化	観光・交流イベント等による地域活性化の試み 環境保全活動の継続
今後に向けた課題	第1節 健康で安心して住み続けられる生活環境の充実	
	○唯一の診療所を安定的に運営し、介護施策とも連携を深め、島民の健康と安心を確保・維持	
	○「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」が一体的に提供される体制構築	
	○移住希望者に対する相談体制の充実	
	○買い物支援施設の維持拡充	
第2節 浦戸産品（海産物・農産物）の高付加価値化や担い手育成による産業の振興		
○島の関係機関や生産者、地域おこし協力隊がインフルエンサーとなり、それぞれの強みを生かした情報発信を推進		
○新商品開発に向けて市内加工業者との連携		
第3節 浦戸ならではの自然や歴史・文化を生かした交流の推進		
○受入体制の整備に向けた担い手となりうる事業者の掘り起こし		

(3) 後期基本計画策定に向けた視点

第1節	第2節	第3節
<ul style="list-style-type: none"> ○市営汽船の安定的な運航 ○医療、介護サービスの連携 ○浦戸への移住希望者に対する相談体制の充実 ○浦戸小中学校での地域資源を活用した教育プログラムの充実 ○買い物支援のための事業者との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○「浦戸ブランド」の認知度向上 ○地域おこし協力隊の定住支援 ○浦戸の海産物（ノリやワカメ、カキなど）の付加価値化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ○安心して利用できる施設・環境の保持 ○みちのく潮風トレイル等の観光客の受入拡大 ○受け入れ態勢の整備 ○担い手となりうる組織・事業者の掘り起こし